

令和8年度春日市スポーツフェスタ「市民交流種目 カローリング大会」 開催要項

- 1 趣 旨 春日市スポーツフェスタの趣旨に則り、カローリングの普及発展と健康づくり、体力の維持・増進に寄与し、併せて参加者相互の交流と親睦を図る。
- 2 日 時 令和8年7月5日（日）
(予 定) 選手受付 午前8時30分～午前8時55分
開 会 式 午前9時00分
予選リーグ 午前9時20分～午前11時30分
決勝トーナメント 午前11時30分～午後12時50分
閉会式 午後12時50分
- 3 会 場 春日市総合スポーツセンター メインアリーナ
- 4 対 象 市内在住もしくは市内通勤・通学の方（満5歳以上）
- 5 競技規則 「春日市カローリング大会 大会規則」を適用する。
- 6 チーム編成 1チーム4名以上6名以内（チーム数：64チーム）
※応募多数の場合は抽選
- 7 試合方法 予選リーグ（2部制：8ブロック各4チームの総当たり戦×2）
決勝トーナメント（各予選リーグ上位2チーム（計32チーム））
- 8 表 彰 優勝、準優勝、第3位
- 9 申込方法 令和8年6月16日（火）までに、市ウェブサイトから申し込むか、申込書を郵便またはファクスで春日市スポーツフェスタ実行委員会事務局（春日市文化スポーツ課スポーツ担当〒816-0831 春日市大谷6丁目28番地 Tel 092-571-3247/Fax 092-571-3305）に送付してください。

※当日スケジュールや試合方法は参加チーム数により変更が生じる可能性があります。

春日市カローリング大会 大会規則

(コート)

第1条 コートはポイントゾーンを含め9 m×3 mの長方形とする。

- 2 コート間は競技者の安全とジェットローラの混在を考慮して2 m以上開けることが望ましい。
- 3 ガードラインをスローラインから2 mの位置に設置する。
- 4 スローラインとガードラインの間をアウトゾーンとし、この中に停止したジェットローラは取り除くものとする。
- 5 スローライン上であればどこからでも投球することができる。

(用具)

第2条 用具は以下のものとする。

- (1) ポイントゾーン 2 m×2 m
- (2) ジェットローラ 1チームにつき同色のものを6個

(選手)

第3条 競技に参加する選手は、原則として1チーム4名以上6名以下とする。ただし、1チーム3名の場合は投球数を6投から5投に変更することで出場を認めることとする。その場合、6投のチームを先攻とし、その後、交互に投球する。

2名以下は出場不可とする。

- 2 チーム内の選手の年齢・性別は問わない。

(競技)

第4条 予選リーグ及び決勝トーナメントの競技の進め方については以下のとおりとする。

1 予選リーグ

- (1) 先攻後攻は、両チーム主将のじゃんけんによって決定する。
- (2) 選手の投球順序は任意とする(1人1投以上2投まで)。
- (3) 対戦チームが交互にジェットローラを6回投げ、最終競技者の投球後、ポイントゾーンの中の各ジェットローラの得点の多いチームの勝ちとする。ポイントゾーンの赤色は3点、黄色は2点、青色は1点とし、負けチームも獲得した点数が得点になる。
- (4) ジェットローラの得点は両チームで確認し、確認した得点をお互いに承認する。
- (5) 最終競技者の投球後、両チームの得点が同点の場合は、ジェットローラが中心に近い方のチームを勝ちとする。その際、勝ちチームも負けチームも得点は変わらない。
- (6) 最終競技者の投球後、両チームのジェットローラがポイントゾーンにない場合、代表者が1投ずつ投球し、ポイントゾーンの中心点に最も近い位置にジェットローラを停止させたチームの勝ちとし、得点は0対0とする。どちらかのチームのジェットローラがポイントゾーンに乗るまで行う。
- (7) 予選リーグの順位は勝ち数の多い順とし、勝ち数が同数の場合は得失点差の多い順、得失点差が同数の場合は総得点の多い順とする。以上でも決定しない場合は、代表者が1投ずつ投球し、ポイントゾーンの中心点に最も近い位置にジェットローラを停止させたチームの勝ちとする。
- (8) 1試合目のみ投球練習を行うことができる(1人1投まで)。

2 決勝トーナメント

- (1) 前項(1)～(6)、(8)に準ずる。
- (2) 1～8位決定戦を行う。

(注意事項)

第5条 次の各号を注意事項とする。

- (1) 投球時、スローラインを越えて体の一部が床面についてはいけない。
- (2) 競技中、ポイントゾーンのジェットローラを確認するためスローラインを越えてはいけない。
- (3) コート内に存在するジェットローラが完全に停止していない状態で投球してはいけない。
- (4) 同じチームの選手が連続して投球してはいけない。
- (5) 相手チームのジェットローラを投球してはいけない。
- (6) 登録された選手以外がジェットローラに触れてはいけない。

(その他)

第6条 ルールとして明記されていない事があっても、参加者の交流と親睦を図ることが大会の目的であるため、フェアプレーの精神で競技に臨むこと。